

『ぷちさぽ』からのお知らせ

●発達支援に関する学習会の開催

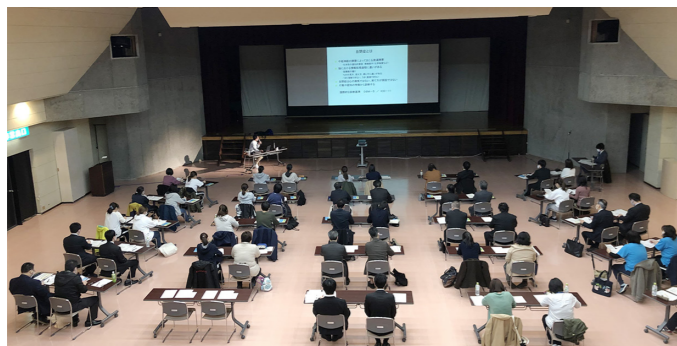
雄武町では、令和2年度に母子健康包括支援センター「ぷちさぽ」を開設し、これまでの取り組みを継続しながら妊娠・出産・子育ての総合相談窓口としての機能強化を図っています。

発達支援は、すべての子どもたちが健やかに生まれ、自己肯定感を高めて生きていく力をつけるために非常に重要なものであり、今年度は北海道におけるモデル地域として、特に力を入れて取り組みを進めているところです。

11月11日(木)に、発達障害者支援道東地域センター「きら星」の丸山芳孝センター長を講師に招き「長期の見通しをもった一貫性のある支援の大切さ」をテーマとした学習会を町民センターで開催しました。

事務局である町の保健福祉課・教育委員会のほか、町内すべての小中学校、高校、保育所、児童センター、地域活動支援センター、自立相談支援事業所などが参加し、子どもたちの支援に関係する多機関が個々の特性に応じて発達を促す接し方や環境整備等、発達支援の基本について学びました。

生まれてから成人まで、切れ目なく一貫した支援が展開されるよう、関係機関が共通認識をはかり、子どもたちが自分らしく生きられる地域づくりを目指していきます。



参加者の感想など(抜粋)

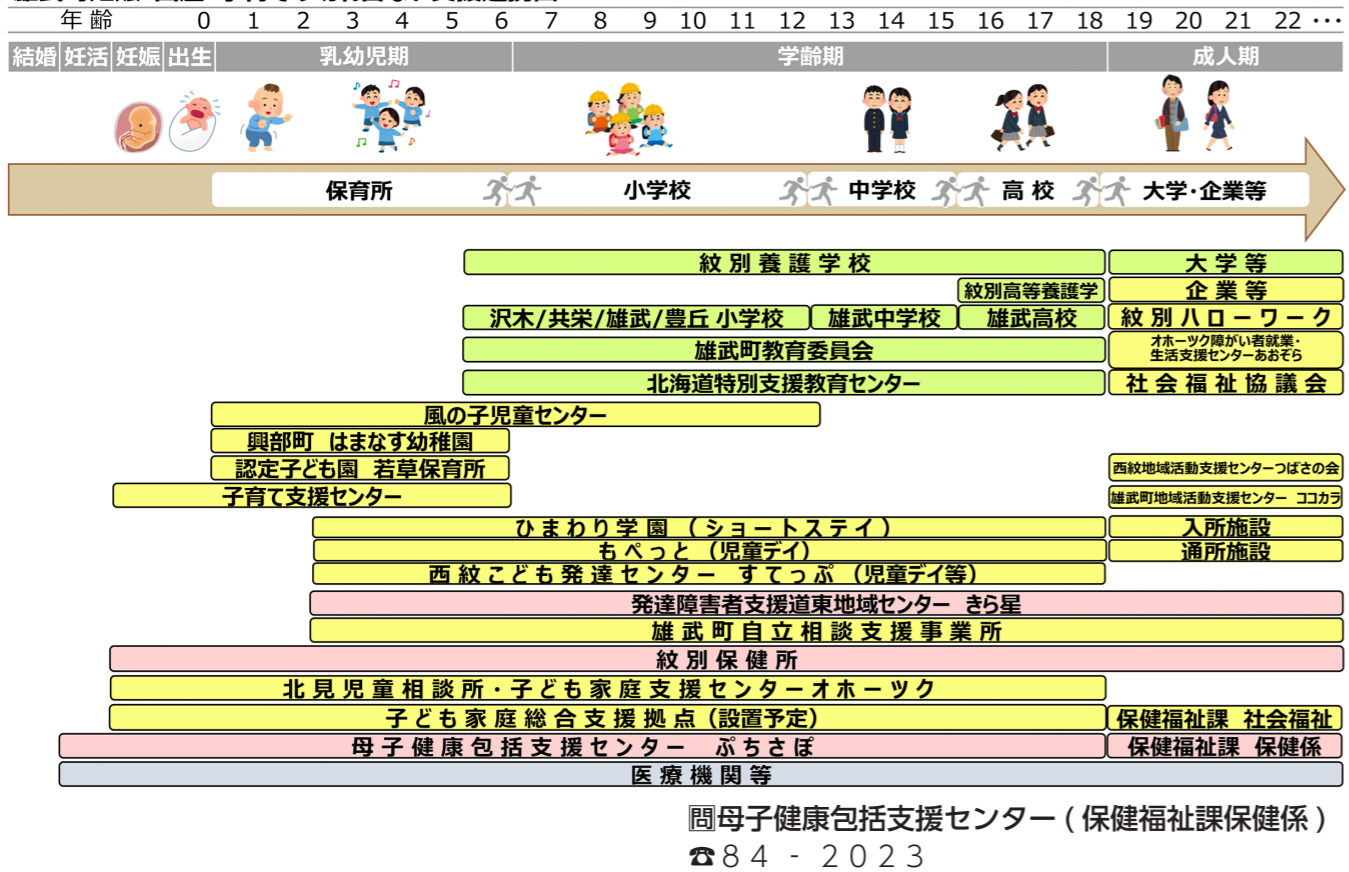
〈日頃大切にしていること〉

- ・子どもの小さなくできる>に注目すること。
- ・子どもの将来をイメージして支援すること。

〈学習会で学んだこと〉

- ・一貫した支援の難しさを改めて感じた。
- ・発達支援が命を守る支援になること。
- ・できるだけ早くに子どもの困りごとに気づき、関係機関と連携して支援していくこと。

雄武町妊娠・出産・子育ての切れ目ない支援連携図



まちのできごと



↑感謝状を手にする村岡支店長(中央右)

11/22 感謝状の贈呈 交通事故防止活動に貢献

この度、役場会議室で北見信用金庫雄武支店(村岡昌信支店長)に対し、町交通安全推進委員会および交通指導委員会から感謝状の贈呈が行われました。毎年4月から11月にかけて実施されている朝の交通安全運動に参加し、通学路の見守りなどを行うことにより交通事故の防止につながったとして感謝状が贈られました。

北見信用金庫雄武支店は、平成31年4月から朝の街頭啓発活動に参加し、交通事故防止に貢献されています。

あたたかいご奉仕をありがとうございます。

11/28 令和3年度北海道国民健康保険団体連合会表彰 地域の健康向上に寄与

この度、雄武町国民健康保険運営協議会委員を務められている中島克弥氏(同協議会会長)および澤田佳一郎氏が令和3年度北海道国民健康保険団体連合会表彰を受賞されました。お二人の受賞は、永年にわたる国民健康保険事業の健全な運営と発展に尽力されたことが称えられたものであります。

お二人の受賞を心からお祝い申し上げますとともに、今後のご活躍を祈念いたします。



↑表彰状を手にする中島克弥氏(左)と澤田佳一郎氏(右)

12/12 雄武町吹奏楽フェスティバル 40人の音色を合わせて

雄武中学校と雄武高校の吹奏楽部、大人吹奏楽部バンドの3団体合同による雄武町吹奏楽フェスティバルが町民センターで開催されました。今回の合同演奏会は中高生らに演奏の場を提供するとともに、吹奏楽部の部員が少数であることから、大人数での演奏を経験してもらうことを目的に開催されました。

各団体が2、3曲ずつ演奏を披露し、幕間の時間も数人が客席側でクリスマスソングを演奏するなどして会場を盛り上げました。最後は団体総勢40人で「ディズニーメドレー」などを奏で、来場した約150人を魅了しました。



↑演奏会の様子